

シラバス

2024 年度

学校名： 沖縄ペットワールド専門学校

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専攻1年	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	生命倫理・動物福祉	担当者	福田 直也	科目必修区分	必修
授業概要	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。				
到達目標	学生が本講義で生命倫理・動物福祉の概念に関して理解し、学んだ知識をもとにその対象動物に最適な看護・動物管理法を選択でき、愛玩動物看護師国家試験においても質問の意図を理解し、正しい選択ができるようになる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	生命倫理の概念			1
	2				1
	3	動物福祉の概念			1
	4				1
	5	西欧と日本における動物観の変遷と動物愛護運動の歴史			1
	6				1
	7	愛玩動物の適正飼養と福祉			1
	8				1
	9	動物病院における動物の福祉			1
	10				1
	11	動物保護施設(アニマルシェルター)収容動物の福祉			1
	12	―動物保護施設の役割・動物虐待の定義と対策―			1
	13	動物保護施設(アニマルシェルター)収容動物の福祉			1
	14	―飼育動物の災害対策―			1
	15	評価試験			1
	16	学校飼育動物の福祉			1
	17				1
	18	産業動物の福祉			1
	19				1
	20	実験動物の福祉			1
	21				1
	22	展示動物の福祉			1
	23				1
	24	野生動物の福祉			1
	25				1
	26	使役動物の福祉			1
	27				1
	28	まとめ			1
	29	評価試験			1
	30	解答解説			1
	合計時間数			30	
教科書	エデュワードプレス 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 動物看護学概論/人と動物の関係学/生命倫理・動物福祉				
時間外学習	次回講義予定の章の教科書内容を予習、前回履修内容を復習。				
	授業内容に関するグループワーク、発表準備				
成績評価方法	【出席(5P)】【課題発表(5P)】【授業態度(5P)】【課題提出(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家		備考		
実務経験紹介	愛玩動物看護師 実務歴 15年				

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専攻1年	授業方法		講義		講義時期		通年		
授業科目	動物感染症学 I	担当者	林 和宏	科目必修区分		必修				
授業概要	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて認識し、検査や診断、衛生管理、予防・治療など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても考察する。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症の定義、感染の成立に必要な3つの要因を解釈する。 • 感染症をひき起こす微生物の種類とそれぞれの特徴を分類する。 • 病原体の感染経路、発症、回復の各ステップを関係づける。 									
授業計画	内 容								授業時間数	
	1	第1章 微生物の分類と特徴 1. 細菌(前半)								2
	2	" 2. ウイルス								2
	3	" 3. 真菌 第2章 微生物検査 1. 検体採取 2. 無菌操作 3. 微生物染色法								2
	4	第2章 4.微生物培養法								2
	5	" 5.微生物検出法 6. 薬剤感受性試験								2
	6	第4章 動物感染症 1. 病原体の感染と伝播 2. 感染症の成立要件 3. 愛玩動物の感染症 1.サルモネラ感染症. 2.緑膿菌感染症.								2
	7	" " 3.パストツレラ症. 4.レプトスピラ症. 5.ブルセラ症 6.歯周病. 7.ボルデテラ症. 8.犬のライム病. 9.カンピロバクター症								2
	8	" " 10.破傷風. 11.結核. 12.膿皮症. 13.細菌性皮下膿瘍 14.扁桃炎. 15. 潰瘍性・膜性口内炎16. 出血性胃腸炎								2
	9	" " 17.亀頭包皮灸. 18.精巣炎・精巣上皮炎. 19. 精巣炎.20.子宮炎. 21.子宮蓄膿症. 22.膣炎.								2
	10	" " 23.膀胱炎・尿道炎・腎盂腎炎. ~30.アシネトバクター症								1
	11	" 2. その他の細菌感染								2
	12	" 3. 犬や猫の真菌性疾患 1.皮膚糸状菌症、2.マラセチア症 3.クリプトコッカス症 4.アスペルギルス症								2
	13	" 5.カンジダ症 6.ヒストプラズマ症 7.プロテカ症 8.ブラストミセス症								1
	14	4. 犬のウイルス性疾患 1.狂犬病、2.犬パルボウイルス感染症、3.犬ジステンパー、4.犬伝染性肝炎								2
	15	5.犬伝染性喉頭気管炎、6.犬コロナウイルス感染症、7.犬ヘルペス感染症、8.犬パピローマ症 9.犬パラインフルエンザ、10.犬インフルエンザ、11.仮性狂犬病、12.犬伝染性気管気管支炎								2
	16	5. 猫のウイルス性疾患 1.猫汎白血球減少症 2.猫ウイルス性鼻気管炎 3.猫カリシウイルス感染症、4.猫白血病ウイルス感染症、5.猫免疫不全ウイルス感染症								2
	17	これまでの復習(グループで行う)								6
	18	6.猫伝染性腹膜炎~10.猫海綿状脳症								1
	19	第5章 免疫学の基礎と応用 1. 免疫反応								2
	20	" 2. 免疫応答の異常								2
	21	" 3. ワクチン								2
	22	評価試験・解答解説								2
	23	これまでの感染症学復習(検定対策)								15
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	合計時間数								60	
教科書	動物看護コアテキスト第3版:「第4部動物感染症学」第1章, 第2章, 第4章, 第5章									
時間外学習										
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【課題提出(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	実務家			備 考						
実務経験紹介	那覇動物病院(獣医師)歴24年									

シラバス

2024 年度

学校名： 沖縄ペットワールド専門学校

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専攻1年	授業方法	実習	講義時期	通年
授業科目	動物看護総合実習 I	担当者	連携企業等	科目必修区分	必修
授業概要	動物関連企業で実践を学び、企業内業務の補助を行い、自らの強み・課題を発見できる場とする。				
到達目標	ビジネス場面で使用されている日常用語(敬語、接遇)、インターンシップ生らしい実習態度(返事、挨拶、電話応対)の基礎を意識し実施できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【体験型実習】			45
	2	動物病院の概要、地域特性、診療方針を理解し、動物看護師の業務内容を理解する。また、			
	3	学内でのカリキュラム、各教科と実際の業務との関連を知ること、必要性や目的を理解し意欲の向上を図る			
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				45
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席状況、実習日誌、企業による評価書をもとに、総合的に判断し、4段階評価とする。				
担当詳細	実務家		備 考		
実務経験紹介	連携企業等(総数42社)				

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専攻2年	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	動物感染症学Ⅱ	担当者	福田 直也	科目必修区分	必修
授業概要	犬猫に関する代表的な寄生虫と予防や駆除の知識を身につけ、飼い主に対してそれを指導・アドバイスすることができる。				
到達目標	寄生虫の分類(虫類、原虫類、衛生動物)知る。 寄生虫ごとの感染経路を理解した上で適切な予防法を判断できる。 感染した際の症状、適した検査法を理解し、虫卵や成虫の外観で名称がわかる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業導入(様々な寄生虫)、総論(寄生虫の分類)			1
	2	内部寄生虫(フィラリア)①			1
	3	内部寄生虫(フィラリア)②			1
	4	内部寄生虫(フィラリア)③			1
	5	フィラリアまとめプリント			1
	6	内部寄生虫(回虫)①			1
	7	内部寄生虫(回虫)②			1
	8	内部寄生虫(鉤虫)①			1
	9	内部寄生虫(鉤虫)②			1
	10	内部寄生虫(鞭虫)①			1
	11	内部寄生虫(鞭虫)②			1
	12	内部寄生虫(糞線虫)			1
	13	内部寄生虫(イヌ条虫)①			1
	14	内部寄生虫(イヌ条虫)②			1
	15	内部寄生虫(マンソン裂頭条虫)①			1
	16	テスト前まとめプリント			1
	17	前期評価試験			1
	18	解説解答			1
	19	原虫類(コクシジウム)			1
	20	原虫類(トキソプラズマ)			1
	21	原虫類(ジアルジア)			1
	22	原虫類(バベシア)			1
	23	外部寄生虫(ノミ)			1
	24	外部寄生虫(ダニ)			1
	25	外部寄生虫(ヒゼンダニ類)			1
	26	外部寄生虫(ニキビダニ)			1
	27	外部寄生虫(シラミ類)			1
	28	テスト前まとめプリント			1
	29	評価試験			1
	30	解答解説			1
	合計時間数				30
教科書	エデュワードプレス 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻				
時間外学習	次回講義予定の章の教科書内容を予習、前回履修内容を復習				
	授業内容に関してのグループワーク、発表準備				
成績評価方法	【出席(5P)】【課題発表(5P)】【授業態度(5P)】【課題提出(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家		備考		
実務経験紹介	愛玩動物看護師 実務歴 15年				

シラバス

2024 年度

学校名： 沖縄ペットワールド専門学校

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専攻2年	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	動物看護総合実習Ⅱ	担当者	連携企業等	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【実務型実習】 総合的な動物看護の実務能力を修得するための指導を受け、動物看護師としての役割や責任について認識を深める。また、指導者の助言を受けながら動物病院における獣医師との連携を通じ看護計画の展開を修得し、動物看護を遂行できる能力を養う。			45
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				45
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	出席状況、実習日誌、企業による評価書をもとに、総合的に判断し、4段階評価とする。 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	連携企業等(総数42社)				

シラバス

2024 年度

学校名： 沖縄ペットワールド専門学校

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専3年	授業方法		講義		講義時期		通年		
授業科目	動物病理学	担当者	林 和宏	科目必修区分		必修				
授業概要	様々な疾病が動物の臓器や組織にもたらす変化を学び、病態について認識する。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 病理学の目的と種類を分類する。 動物看護で病理学を学ぶ意義を関係づける。 									
授業計画	内 容								授業時間数	
	1	第1章 動物病理学とは 1.病理学の目的. 2.病理学の種類.								1
	2	第2章 生体反応と病気の成り立ち 1.病気の原因. 2.バイタルサイン.								1
	3	第3章 生体の回復力 1.恒常性の維持と疾病.								1
	4	" 2.身体の回復力に影響する因子. .								1
	5	第4章 細胞や組織に生じる変化 1.細胞障害の過程. 2.さまざまな細胞障害因子.								1
	6	" 3.障害を受けた細胞の変化.								1
	7	第5章 増殖と修復 1.細胞の増殖と組織の変化. 2.化生.								1
	8	" 3.組織の修復と治癒.								1
	9	第6章 循環障害 1.血液循環とリンパ液の循環. 2.水腫								1
	10	" 3.充血とうっ血. 4.出血と止血								1
	11	" 5.その他の循環障害(1~3)								1
	12	" 5.その他の循環障害(4~6)								1
	13	前期まとめ								1
	14	前期評価試験								1
	15	題7章 炎症 1.炎症の原因と役割. 2.炎症の五大主徴. 3.炎症の経過と治癒								1
	16	" 4.炎症に関わる細胞とケミカルメディエーター								1
	17	" 5.急性炎症の分類. 6.慢性炎症の分類.								1
	18	第8章 免疫異常 1.免疫反応(前半)								1
	19	" 1.免疫反応(後半).								1
	20	" 2.免疫応答の異常 (1)アレルギー								1
	21	" 2.免疫応答の異常 (2)自己免疫疾患								1
	22	" 2.免疫応答の異常 (3)免疫不全								1
	23	" 2.免疫応答の異常 (4)移植と拒絶反応								1
	24	第9章 腫瘍 1.細胞の増殖分化とその異常								1
	25	" 2.腫瘍の定義と分類								1
	26	" 3.腫瘍の原因と発生メカニズム								1
	27	" 4.腫瘍の転移と進行								1
	28	第10章 先天異常 1.先天異常とは 2.先天異常の原因								1
	29	後期まとめ								1
	30	後期評価試験								1
	合計時間数								30	
教科書	動物看護コアテキスト3:「動物の疾病と予防および回復(動物病理学)」、資料動画									
時間外学習										
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【課題提出(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	実務家			備考						
実務経験紹介	那覇動物病院(獣医師)歴24年									

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専3年	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	動物薬理学	担当者	我喜屋 美香	科目必修区分	必修
授業概要	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について認識し、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを考察する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 薬理学とは何か、臨床における薬物治療の概念、目的について解釈する。 医薬品の基準に関する法規、ならびに薬物の管理方法と適正な使用法を関係づける。 新薬の開発過程と臨床治療の実施法を分類する。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 動物看護師による薬物の取り扱い 1. 薬物治療の概念と目的 2. 医薬品の分類と法規			2
	2	3. 新薬の開発過程 物薬理学の基礎 1. 薬理作用とその発現機構. 2.薬の作用点と受容体.			2
	3	3.薬物の化学的性質、剤形と投与方法.			2
	4	4.生体内での薬物の動態.			2
	5	5.薬効に影響を与える因子 6. 有害作用の分類と機序、動物種差			2
	6	第3章 神経系に作用する薬物 1. 麻酔薬			2
	7	" 2. 鎮痛薬			2
	8	" 3. 運動神経系に作用する薬			2
	9	" 4. 鎮静薬と抗けいれん薬			2
	10	" 5. 行動異常の治療薬			2
	11	第4章 呼吸器系に作用する薬物 1～4			2
	12	第5章 循環器・泌尿器に作用する薬物 1.血管拡張薬(降圧薬)			2
	13	" 2.心不全治療薬(強心薬)3.抗不整脈薬 4. 利尿薬			2
	14	★前期試験			2
	15	★前期試験の解答解説・前期のレビュー			2
	16	第6章 消化器に作用する薬物 吐薬 2. 抗潰瘍薬 3.消化管運動に作用する薬			1.制 2
	17	" 4.止瀉薬 5.瀉下薬 6. 肝疾患、胆道疾患の治療薬 7. 膵臓疾患の治療薬			2
	18	第7章 オータコイド、代謝、内分泌系の薬物 1.オータコイド			2
	19	" 2.糖尿病治療薬			2
	20	" 3.甲状腺障害の治療薬 4.ステロイドホルモン(5. 脂質代謝・骨代謝異常の治療薬)			2
	21	第11章 薬用量の計算方法 1.～3			2
	22	第8章 血液免疫系に作用する薬物 1.抗貧血薬			2
	23	" 2. 血液凝固抑制薬と血液凝固促進薬(止血薬)			2
	24	" 3. 抗炎症薬			2
	25	" 4. 免疫抑制薬 (5. ワクチン)			2
	26	第9章 感染症の治療、予防に用いられる薬物 1.抗菌薬 2. 抗真菌薬			2
	27	" 3. 駆虫薬(抗蠕虫薬)、抗原虫薬			2
	28	" 4. 殺虫薬 5. 消毒薬			2
	29	第10章 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物			2
	30	★後期試験			2
	★後期試験の解答・解説及び後期のレビュー			2	
	合計時間数			60	
教科書	動物看護コアテキスト3:「動物の疾病と予防および回復(動物薬理学)」				
時間外学習					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【課題提出(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家		備考		
実務経験紹介	薬剤師 暦44年				

シラバス

2024 年度

学校名： 沖縄ペットワールド専門学校

学科・学年	動物看護・管理学科(3年制課程)動物看護専3年	授業方法	実習	講義時期	通年
授業科目	動物看護総合実習Ⅲ	担当者	連携企業等	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【補助型～実務型実習】			45
	2	動物医療は獣医師、動物看護師、スタッフ全員が協力して行うチーム医療であることを理解し、良好なコミュニケーション、動物看護師としての業務、役割を果たし、動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など基本的な事項について認識を深める。			
	3				
	4				
	5				
	6	【実務型実習】			45
	7	総合的な動物看護の実務能力を修得するための指導を受け、動物看護師としての役割や責任について認識を深める。また、指導者の助言を受けながら動物病院における獣医師との連携を通じ看護計画の展開を修得し、動物看護を遂行できる能力を養う。			
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				90
教科書					
時間外学習					
成績評価方法	7項目評価で5段階評価				
担当詳細	実務家		備考		
実務経験紹介	連携企業等(総数42社)				